

沖大幹研究室

[気候変動を考慮した水循環予測モデルの開発]

生産技術研究所 人間・社会系部門

Department of Human and Social System

<http://hydro.iis.u-tokyo.ac.jp/indexJ.html>

地球水循環システム

社会基盤学専攻

タイを対象とした気候変動に対する水分野の 適応策立案・実施支援システムの構築

Integrated Study on Hydro-Meteorological Prediction and Adaptation to Climate Change in Thailand

タイ政府や大学の雨量観測網や現地調査で得られた情報を用いて数値シミュレーションの精度を向上し、気候変動や土地利用変化に伴う水循環の変動推計を組み込んだ水循環情報統合システムを構築する。

2011年のチャオプラヤ川大洪水の緊急調査も実施し、実態解明を進めるとともに適応策の立案に貢献している。



行政機関との連携

洪水実態の把握

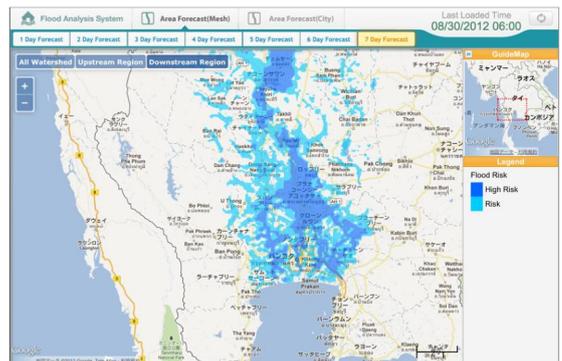


図1. 本研究により構築された洪水予警報システム

世界の水資源の持続可能性評価のための 統合水循環モデルの構築

Development of an Integrated Hydrological Model for Sustainability Assessment of World Water Resources

これまでに開発してきた統合水循環・水資源モデルをさらに発展させ、より現実に即した水資源需給評価を可能にすると共に、世界の主要研究グループによるモデル推計値を総合して信頼度の高い世界の水循環・水資源需給情報ベースを構築する。

得られた成果に基づいて水、エネルギー、食料を一体として考えた世界の水持続可能性リスクアセスメントを行い、今後の気候変動、社会変化が水を通して人類の持続可能性に及ぼす影響を明らかにする。

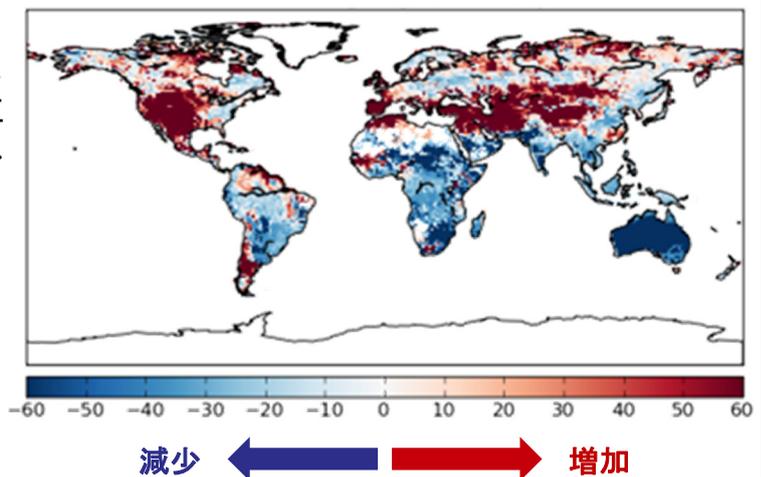


図2. 気候変動による干ばつ日数の変動